

まず始めに先日三月十六日の地震により被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げるとともに、日常を早く取り戻されるようお祈り致します。

二十四期生のみなさん、本日、無事卒業を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

在校生とともに、教職員一同、みなさんの門出を祝福致します。

本年も新型感染症のため、通常とは異なる形での式典の開催となりました。誠に残念ですが、ご理解頂きたいと思えます。しかし、卒業生のみなさんはこの二年間、色々な制約のある中で、様々な活躍をしました。胸を張ってこの伊佐沢の山から巣立って行って下さい。

本日、お越し頂いた保護者の皆さまは、途中の山道の状況を見て驚かれたと思います。数年来なかった大雪と著しい低温のため、正に爆撃にあったかのように多くの木々が倒れ、また自動車が発輪し通行不能となることが一度や二度ではありませんでした。授業を行うのが困難な状況になることもありましたが、卒業生をはじめ学生や教職員の協力により、なんとか成し遂げることが出来ました。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、先程、爆撃という過激な言葉を使いましたが、今、地球上でこの非道な爆撃が繰り返されている地域があります。卒

業生のこれからの門出だからこそ、この話しをしたいと思いません。

ウクライナは、負の遺産としてのチェルノブイリ原発以外に一般に広く知られた建築はありませんが、中世の教会堂が世界遺産に登録されるなど、古くからの町並みが今に残っています。歴史的に周辺の国々の情勢に大きな影響を受け、翻弄されてきた経緯があります。今のロシアの侵攻は長い目で見ればその流れの中にあるとも言えるようですが、だからといって一般市民に対する攻撃は一切許すことの出来ない蛮行です。残念ながらロシアが撤退する動きは未だなく、そして、これが遠いヨーロッパの一地域の問題ではないことを認識しなければなりません。そこで、今後、我々に影響があると想定されることを指摘します。まず、ロシアが世界経済から切り離されつつあることから、経済およびエネルギー問題の直接的な影響があるでしょう。物価の高騰、ガソリン価格の更なる値上げは既に起こりつつあり、経済の不透明感は一建設を始めとした一般的な建築の着工率にも反映する可能性があります。また、第二のウッドショックが発生する可能性も指摘されています。つまり、日常生活はもとより、皆さんの仕事の場面にも大きな影響が現れてくることになります。さらに様々な国々を巻き込んで、将来的に紛争が長期化する恐れがあり、七十年前の第二次世界大戦以前の状況に戻る可能性も指摘される非常に深刻な状況となっています。今は二国間の武力衝突ですが、これが他の国を含めた戦争になるかもしれません、残念ながらその多くの国は核兵器を持っているので

す。

我々はそして皆さんは、まずこの現状を理解し、その上で未来への道筋を思い描いていくことが求められます。

何をどうすれば良いのか。私にも分かりません。個人の力で大国の暴走を止めることは出来ないのですから。ただ、言えることは、ヒトというのはこういう生き物だと諦めるのではなく、一人ひとりが国際的正義を求める声を発し続け、あわせて悲惨な状況に陥った人々に手を差し伸べることは出来るのではないかということ です。今あるわずかな救いは、地球上の多くの国々がこの立場に立っているということ です。ウクライナの市民に一日も早く日常を取り戻せるように我々は成し得ることを少しずつ成す努力をして行こうではありませんか。そして、皆さんには混迷する世界の情勢を踏まえながらそれを乗り越えるための考える力を身に付けて行かれることを期待します。

最後に、この悲劇から導き出せる教訓を述べて結びとします。

皆さんは未来に向かって、自分の力や能力を最大限伸ばして行って下さい。

しかし、それを妄信してはなりません。

卒業生諸君の更なる成長を期待しつつ、改めてお祝いを申し上げて、式辞と致します。本日は誠におめでとうございます。

令和 四年 三月 十八 日

山形工科短期大学校 学校長 小幡知之